肱川

1958.7.20
編集 肱川村役場
発行 肱川村教育委員会

六月定例村議会を開く

七月八日定例村議会を開いて次の事件を処理した。

一、昭和三十二年度井地災害特別会計予算の繰越計算の報告について
一、小団地開発整備事業施行について
一、肱川村工事執行条例中一部改正について
一、肱川村税条例の全部改正について

本月の出来事

六月十二日 県林務課員来村中居谷林道計画線を測量
十五日 観光特別委員会を開く
十七日 宇和町産業課長 町議一行十一名農村青年建設班状況視察のため来場
十八日 メートル法推進について商工会代表者会を開く
西田県議来場肱川地区水没者と懇談する
廿日 村議会常任委員長連絡会を開く
食品業者講習会を開く
廿二日 ダム関係県補償委員一行来場 肱川地区水没者と懇談会を開く
廿五日 村議会建設委員会を開く
六月廿六日 日本脳炎予防接種
廿七日 レントゲン検診
卅日 中学校統合研究委員会を開く
腸パラチフス予防接種本日より開始
七月一日 消防団分団長会を開く
二日 観光特別委員会を開く
四日 教育委員会を開く
六日 農林水産部長来村
農道関係視察
八日 定例村議会を開く
九日 民生委員会を開く
十日 月野尾農道測量

国保受診証の更新

現在御使用の受診証は大分汚損して居ります為、今度新しく発行をします。
下記要領御注意の上引換をして下さい。

記

一、七月十九日部落長に一括して渡します。旧受診証と引換にて受取ること。若し旧受診証紛失の方は紛失届を提出して受取ること。
一、旧受診証使用期限は七月三十一日まで。新受診証使用開始は八月一日より。

養蚕五カ年計画について

県及、郡市、村では、さきに養蚕振興五カ年計画を立て、養蚕経営の能率化を中心に生産の増強を図ることを決定した。その后生糸市場の悪化にともない、政府は製糸の操短、夏秋蚕の二割生産制限を決定した。

このため、養蚕に対する不安が高まつておるが、去る県会で知事が答えておるように、県は、この五カ年計画をあく迄もやる方針であるが、その理由簡単にかけないので省略しますが、現在程度の生産額は政府の施策と、市場開拓の方法如何では問題ではない。価格低下は、何も養蚕に限つたことではない。養蚕、畜産、その他の一切のものが、低価格傾向にある限り、如何に、経費少く良い物を作るかと言う、目標の解決を迫られているのです。老廃桑園の更新、技術の向上等色々の問題の解決なしに新しい作物を入ることを考えることでは見透しは明るくならぬでしょう。

養連でも、この不況対策に、経営の能率増進と言うことを目標に万全の指導をして行く方針である

三七五俵 ー三十三年米穀の集荷目標ー

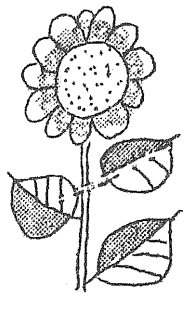
七月一日付で本年度産米の予約目標三七五俵の要請があつた。

麦の凶作、作付期の天候不順と農家の表情は暗く、この確保は仲々であろうと関係者は見ているが、米価の決定をめぐる論議でもわかるように、現在の予約制をもとにした、米の統制は、全く農家保護、米価維持の色合いの強いもので、農家自らが、この制度をくづすことは、農家経済に及す色々な面に影響する。農家は積極的にこの制度を活用し、農産物価格低落防止の、最后の防波堤である。米価の維持を計る必要があるとして村、及農協は、売渡しの推進を図りこの目標を確保すべき考えで農家の協力を求めておる。

メートル法実施へ動く ー鹿ノ川地区商工会ー

メートル法完全実施まであと半年、県下各地にメートル法実施への動きが活潑になつておるが、鹿ノ川商工会でも、去る六月一八日役場に業種別代表者が集合話し合つた結果、八月一日よりメートル法での取引を実施する目標で準備を進めることに意見の一致を見た

来年一月一日より メートル法全面実施



新農村だより

新農振協議会は、第一次調査を実施中であるが、農家のかん心も日を追つて高まりつゝある。

スタノオ、上サガヤ中居谷、では部落集会を利用して、事務局員を呼び研究会を開催したが、八方ふさがりの農家の経営改善のため、農家自身が本気になつて考えようと言う意見が強かつた。

なお、大谷では七月十二日地区内部落長が集合、話し合いをした。

県森連木材市売場 七月五日市況

相場は前回（六月二〇日）より幾分高値一才当り肱川土場価格次の通り

長さ	未口	経	種	スギ	ヒノキ	マツ	備考
一三尺二寸	三〇	三五	下	三五	三四		
	三〇	三五	上	三五	三四		
	三〇	三五	上	三五	三五		
	六〇	六〇	上	三〇	三五		
	八〇	六〇	上	三〇	三七		
	一〇	三〇	上	三〇	三〇		松材も好況を示した
一〇尺	三〇	三〇	下	二七	二八	二〇	
	三五	三〇	上	二〇	二八	二〇	
	六〇	三〇	上	二〇	二〇	二〇	
七尺（六、六尺）	三〇	三〇	下	一三	一四	三五	
	三五	三〇	上	一四	一七	一七	
	六〇	三〇	上	一八	二九	二〇	
三尺	三五	三〇	上	一三		四〇	
二〇尺	五〇	三〇	上	三五	三七		

林業通信

☆豚の人工授精を開始☆

喜多畜連では当地方の豚の改良を図るため英国産の優秀な種豚を導入して、豚の人口授精を始めることになりました。

種付をする場合はいつでも喜多畜連へ御申込下さい

○電話 大洲局 840番

昭和三十二年度村税収納成積

この程三十三年五月三十一日現在の昭和三十二年度分村税徴収成績の集計を完了した結果左の通りとなつている。

税目	調定現額	収入済額	督促手数料	延滞金	延滞加算金	収入合計	滞納繰延	摘要
現年度								
県村民税	3,364,000	3,330,850	3,600	970	390	3,335,210	33,150	99.0
法人税	1,118,399	1,118,399	—	—	—	1,118,399	0	100
固定資産税	7,477,570	7,310,365	7,200	3,030	1,240	7,321,835	157,205	97.8
自転車荷車税	239,170	234,370	440	50	20	234,880	4,800	98.0
たばこ消費税	1,619,140	1,619,140	—	—	—	1,619,140	0	100
電気ガス税	2,468,736	2,468,736	—	—	—	2,468,736	0	100
木材引取税	975,060	943,915	—	—	—	943,915	31,145	96.8
合計	17,262,075	17,025,775	11,240	4,050	1,650	17,042,715	236,300	98.6
(滞納繰越分)								
県村民税	122,677	43,521	3,530	1,980	700	49,731	69,156	38.6
固定資産税	218,966	82,851	3,580	4,365	1,700	92,496	136,115	37.8
自転車荷車税	8,662	2,013	180	170	120	2,483	6,449	23.2
木税引取税	49,850	30,850	240	—	—	31,090	19,000	61.9
計	390,155	159,235	7,530	6,515	2,520	175,800	230,920	40.8
現年度 保険税	3,187,281	3,133,956	10,940	750	150	3,145,796	53,325	98.3
滞納繰越分 保険税	95,766	39,473	4,080	1,120	540	45,213	56,293	41.2
計	3,283,047	3,173,429	15,020	1,870	690	3,191,009	109,618	96.7
現年度 一部負担金	4,397,622	4,082,309	5,220	—	—	4,087,529	315,313	92.8
滞納繰越分 一部負担金	459,927	292,426	4,020	—	—	296,446	167,501	63.6
計	4,857,549	4,374,735	9,240	—	—	4,383,975	482,814	90.1
総計	25,792,826	24,733,174	43,030	12,435	4,860	24,793,499	1,059,652	95.9

椎茸の榾を暑さから守ろう

最近の日光はあまりにも強烈です。直射日光は絶対に避る様心掛ける事。椎茸菌の死滅する温度で暑さではC三〇度となつていますので特に気を付けて下さい。今春植付けられた伏込中の榾の管理は慎重にする事。

直射日光の当る所へは笠木を余分に掛けるか生芝を生垣の様に立てゝ蔭を作る事。

二、三年以上の榾場も一応点検して直射日光を当ずに温度の蒸発を防ぐよう処理して下さい。そうする事が椎茸栽培に於ける施肥の役目を果す事となり、秋子の出茸の良否を決定ずけるものです。

六月分人口移動

○出生

上鹿の川 岩本 信之
汗生 中野 富士雄
建省 久米 寿子
影地 富永 文子
町 小田 敏子
中敷 水富 永隆志
県発電事 尾崎 薫
〃 尾崎 緑
上さがや 山内 一登
影地 森野 日登美
汗生 谷本 悦子
建設省 辻 泰永
上鹿ノ川 城戸 貴子
瓜生谷 井脇 広行
道の尾 東田 泰記
〃 西山 紀子
久保 博田 智恵美
月の尾 山内 秀一
県発電事 西田 享
中津 山口 まつえ

○死亡

町 栗田 興作
県発電事 尾崎 緑
山 樋中川 光義
久保 博田 智恵美
上森 山小谷 スガ

三、六、三〇 現在人口
男 四、一二二人
女 七九七人
計 七、九一九人

世帯数 一、五〇三

球技大会終る

川上地区小中学校球技大会は七月十日高砂グランドで行われ途中夕立にとゞこめられたが、無事終了した。卓球については過日中野小学校で行われた。

○小学校バレー
男子優勝 大谷小学校
〃 二位 河辺小学校
女子優勝 坂本小学校
〃 二位 大谷小学校

○中学校バレー
男子優勝 河辺中学校
〃 二位 大谷中学校
女子優勝 岩谷中学校
〃 二位 河辺中学校

○中学校卓球
男子優勝 宇和川中学校
〃 二位 大谷中学校
女子優勝 宇和川中学校
〃 二位 予子林中学校

尚、一位二位の中学校各チームは、来る二十六日、二十七日行われる郡大会へ代表して出場する。

野球の予選は行なわれていないが、郡大会へは、宇和川中学、予子林中学の各チームが出場する。

中学女子バレー、中学男女卓球の優勝杯は、三年連続優勝校に贈呈することになつていたのが、前年度までに、バレー岩谷中、卓球男女共宇和川に贈呈されていたので、本年は新たに、中学卓球男女共優勝楯を和気千秋氏に、中学バレー優勝杯を福田哲秋氏に寄贈をうけた。

ひどいから

ひどいからつゆに農家が随分と悩まされたあと、猛烈な暑気がおそつてきた。農繁期で疲れたあとの暑さは一そう骨身にこたえる。

昨年は赤痢が発生して、あわてたが、本年は用心の上にも用心をして伝染病と戦いたい。

毎年のことながら子供の水の事故が頻発している。伝染病と同じく防ぐことができる筈だから不幸な事故を未然に防止したい。

当分、この暑さが続き、夏なりの種々な行事も多いし、農家も年中日曜なしの忙しさだから、身体にも注意して、病気や事故にあわないよう、この夏を無事に過したい。

もつとも、夏を暑いからどきらうこともないようだと思う。

暑い夏があればこそ、稲も育つ。行水のあとの心快よさ、緑蔭で岩清水に喝をいやす歓び、西瓜の味覚も夏ならではの味いだし。

せめて、いろんな工夫で夏を楽しく、涼しく過し、楽しい夏を工夫するのも新生活の大切な要素だと思う。